

株式会社FRONTEO 第18回定時株主総会 質疑応答内容

※本質疑応答は、当社が株主総会で行った事業にかかわるご説明を、ご出席いただいた株主様以外にも広く開示する目的で掲載するものです。質疑応答の内容につきましては、適宜整理分類の上要約しております。

質問：ライフサイエンス AI 事業において、長期的な売上を達成するにあたり、保険収載のための開発投資が必要となると思われるが、どれぐらい投資をして、長期的な売上目標を達成できると考えるか？

回答：ライフサイエンス AI での主な投資は医療機器の認可申請のための治験費用等となります。投資は、パートナー企業様と分担しながら進めていきますので、当社側で今以上の大きな投資が必要になることはないと考えています。開発を順調に進めていけば、しっかりと成長する体制を構築できると考えております。

質問：AI ソリューションは伸びていて素晴らしいが、リーガルテック AI 事業の売上減少について、原因や今後どうするか教えてほしい。このまま衰退して、売上がトータルでは目標に届かない、というリスクがあるのではないか？

回答：AI を使用していない従来型のリーガルテックビジネスでは、労働集約型のドキュメントレビュー等が大きな割合を占めています。この従来型ドキュメントレビューは採算が悪いため、これを利益率の高い AI を活用したサービスへ転換していきます。

リーガルテック AI 事業の売上は一時的に減少していますが、これは従来型ビジネスから AI を活用したビジネスへ転換する過程の中での一時的な事象と考えています。

今までのお客様に AI を利用して頂き、新しいお客様にも広げることで、最終的にリーガルテック AI 事業においてステージ4の売上高100億円を達成したいと考えています。

以上